

各位

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社  
代表者 代表取締役社長 竹口 佳宏  
(コード番号 5015)  
問合せ先責任者 適時開示担当取締役 長浜 靖子  
(TEL 03-5719-7750)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	2,000	1,980	1,150	50.09
今回発表予想(B)	12,669	2,747	2,728	1,516	66.03
増減額(B-A)	668	746	747	365	
増減率(%)	5.6	37.3	37.8	31.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	12,189	2,342	2,326	1,268	55.26

#### 修正の理由

上半期におきましては、平成22年4月28日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、政府のエコカー減税等の景気刺激策に牽引される形で国内新車登録台数が緩やかな回復基調にある中、昨年に引き続き環境に配慮した低粘度・省燃費のプレミアムオイルの販売に焦点を当てたことにより、カーショップでのシェアと商品構成の上級化及びカーディーラーでの新規顧客開拓の伸張が売上面・利益面に寄与いたしました。

第3四半期におきましても、上半期同様の戦略を継続させることで予想以上の成果を上げております。

日本経済の先行きは依然として楽観視はできず景気動向など個人消費への影響等を注視していく必要があります。第4四半期は、新車販売に貢献してきたエコカー補助金制度が終了したことによる、当社ビジネスへの懸念材料がありますが、9月までの業績見通しを勘案し通期の業績は当初予想を上回る見込みであります。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により、記載の数値と異なる可能性があります。

以上